

乳幼児期の切れ目ない支援について



公明党
川崎 善友 議員



質問 こども家庭センター設置予定について、市の所見を伺う。

市長 現在、国の法改正の趣旨を踏まえ、こども家庭センター設置に向けて検討を始めている。今後、国から示される情報を基に市における状況等に鑑み適切に対応していく。

[学校における防災教育について](#)

質問 防災教育について、市内の小・中学校でどのような取り組みがされているか伺う。

教育長 本市教育委員会は、各学校に対して、教育課程に防災教育を位置づけ、年間指導計画に基づき、実践的な防災学習を展開するよう指導している。各学校では、年間11回

以上実施する避難訓練において、休み時間や放課後の校庭など様々な場面や時間帯を想定し、学校の状況に応じて工夫して実施している。今後も、児童・生徒がまず自分の命を守り、次に身近な人を助け、さらに地域の安全に貢献できる人材の育成を目指して防災教育を推進していく。



▲市内小学校における高台避難訓練の様子

給食の意義と無償化について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 学校給食の意義と無償化について、市の見解を伺う。

教育長 学校給食は、教育の一環として児童・生徒の心身の健全な育成に資するものであり、児童・生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たし、食育の一環としても重要な意義を持

っている。さらに、給食の時間は、学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うコミュニケーション能力の育成や仲間意識の醸成にもつながると考えている。引き続き、安全で安心な学校給食を子どもたちに提供することにより、児童・生徒の心身の健全な発達と食育の推

進を図っていく。学校給食費の無償化については、自治体独自で行うべきものではなく、法律改正などが行われた上で対応すべきものと考え、現時点では実施する予定はない。なお、経済的な支援を必要とする家庭については、就学援助制度等による公費負担を行っている。



インボイス制度の市内事業者への対応について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 小規模事業主に負担がかかるインボイス制度は中止すべきと考えるが、10月からの制度導入に当たり、市は市内事業者にどのような対応を行ってきたか伺う。

市長 インボイス制度の市内事業者への対応について、消費税は国税であるため、国税庁により全国の国

税局・税務署においてインボイス制度に関する説明会等が開催されている。市にもインボイス制度の周知に関する協力要請があり、リーフレットの配布や、青梅税務署主催の説明会のお知らせを市ホームページの事業者向け情報に掲載した。そのページには、国税庁のインボイス制度特

設サイトへのリンク先を載せ、そこからオンライン説明会の開催状況や申請手続き、問い合わせが多い質問内容などが確認できる。また、福生市商工会においても、インボイス制度に関するセミナーの開催や、専門家等による個別相談を随時実施している。



▲インボイス制度周知のリーフレット

横田飛行場内における泡消火薬剤の漏出について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 横田飛行場内での泡消火薬剤の漏出について、情報提供されるまでの市の取り組みについて伺う。

市長 今回、7月4日に情報提供を受け、7月5日に横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会が、国の責任で基地内のPFAS漏出に係る地下水への影響評価等を行うこ

とを要請したことに対し、7月21日に北関東防衛局から、環境省の専門家会議での検討等を踏まえ、関係省庁で連携して対応するとの情報提供があった。国の責任において調査・分析・評価を行い、しっかりと説明していただくこと等を求めていく。

[市道の維持管理等の考え方について](#)

質問 市道の維持管理等の考え方について伺う。

市長 道路ストック点検を実施し、緊急度合いに応じて補修工事に取り組み、適切な道路の維持管理に努めている。安全で円滑な道路交通の確保を図るため、破損を早期に発見し、迅速に補修を行うことが必要である。



▲道路ストック点検の様子

多子世帯への支援について



公明党
青木 健 議員



質問 本市の多子世帯への支援の取り組みは。また、塾や習い事等に使用できる教育バウチャーと呼ばれるクーポンを支給してはどうかと考えるが、見解を伺う。

市長 多子世帯への支援は、これまでも国や都を中心に展開されてきた。令和5年10月からは都独自の支

援として第2子の保育料も無償化される。また、国の「次元の異なる少子化対策」により、児童手当を見直し、第3子以降が3万円に拡充される予定である。バウチャー制度は、利用者が希望する施設やサービスを自由に選択でき、用途が教育や保育に限定されることで、子どもに直接

届く支援として高い効果が期待できる。多子世帯に特化したバウチャーは、主に貧困対策を目的としている他自治体の事業とは異なり、低所得世帯以外の家庭への支援や少子化対策としての効果も期待できるものと考えられ、今後の子ども政策の展開における選択肢の一つとしたい。



「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジ一方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

ご利用ください! 福生市議会インターネット中継



福生市議会
インターネット中継

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも、市議会のインターネット中継を視聴できます。

◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
◆利用方法 福生市公式ホームページ「福生市議会」→「インターネット中継」よりアクセス